

氏名	武田 美津代	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	基礎看護学				
学位	修士（学術）				
学歴	1984年埼玉県立短期大学第一看護学科、97年放送大学教養学部生活と福祉専攻、2001年文教大学大学院修士課程 人間科学研究科生涯学習専攻、08年埼玉県立大学認定看護師教育課程 皮膚・排泄ケアコース				
経歴	1995年新潟県立看護短期大学助手、98-2002年埼玉県立衛生短期大学（埼玉県立大学短期大学部看護学科）助手、06年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科講師、09-11年埼玉県立大学認定看護師教育課程 皮膚・排泄ケアコース講師、15年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科准教授				
所属学会（役職）	日本看護技術学会、日本看護研究学会、日本褥瘡学会、日本排泄・ストーマリハビリテーション学会、日本創傷・オストミー・失禁管理学会、日本生涯教育学会				

【2021年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	2022年度版 准看護師試験問題集	共著	あり	医学書院；p 475	阿部佳子、天賀谷隆、生井明浩、 <u>武田美津代</u> 他（解答者32名）	2021.5月
2	基礎看護 [4] 臨床看護概論	共著	あり	医学書院；p 279	新村洋未、國澤尚子、木村伸子、 <u>武田美津代</u>	2022.1月
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	一人暮らし高齢者の日常生活と睡眠の実態—シート型体振動計を用いて—	単独		日本老年看護学会 第26回学術集会	○林裕栄、久保田富夫、武田美津代、新村洋未、畔上光代、滑川道人、三塩操	2021.6
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）			訪問看護師育成のための教育セッションの機能と課題に関する研究	研究分担者	2020.4月～2022.3月
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	看護過程論		16	科目責任者と授業の事前検討を行い、演習のサポートを行った。看護過程の展開の演習では、オンラインで2～3グループ程度を担当してペーパーペイシェントの事例を用いた。対面でグループワークする際には学生のオンライン学習の理解状況を確認しながら、看護計画立案の指導を行った。		
2	看護方法Ⅰ		16	科目責任者と協力し、技術演習が効果的になるよう事前検討を行い、感染対策を考慮して技術演習の指導をおこなった。学内演習は限られた時間内に看護の基本技術を学習できるように留意した。		
3	看護方法Ⅱ	○	16	科目責任者として授業を計画し、感染対策を考慮しながらオンラインによる講義と演習を行った。技術演習は入室制限を考慮しながら対面での学習を取り入れ、自宅でも実施可能な演習課題を課した。		
4	看護方法Ⅲ		16	科目責任者と協力し、授業が円滑に進むようにサポートした。感染対策をしながら対面の技術演習をサポートした。		

5	看護方法Ⅳ		16	科目責任者と協力し、授業が円滑に進むようにサポートした。感染対策をしながら対面の技術演習をサポートした。
6	看護方法Ⅴ		16	科目責任者と協力し、授業が円滑に進むようにサポートした。感染対策をしながら対面のグループワークなどに参加して学生指導を行った。
7	感染管理		8	科目責任者と授業運営について対面での学習を検討して準備したが、感染拡大により途中からオンライン学習に切り替えて指導し、グループワークなどのサポートを行った。臨床における感染対策が学べるようゲストスピーカーを招き、実践的な活動を知る機会を設けた。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	該当なし			
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ヒューマンケア体験実習		2021.9月	2施設（学生10名）を担当した。オンライン実習であったため、グループワークの進捗状況を確認しながら、実習目的に沿った学びができるようにファシリテートした。
2	基礎看護学実習Ⅱ		2021.10月	2年生計10名（2クール）の受け持ち指導した。感染拡大と感染対策のため、臨地実習と遠隔実習を組み合わせた実習指導とした。午前は病院実習で臨床指導者との役割分担をしながら受け持ち患者の看護ができるように指導し、午後はオンラインで午前を振り返り、個別性のある看護を指導した。
3	基礎看護学実習Ⅰ		2022.2月	病院実習が可能な施設と不可能な施設に対応するため、科目責任者と協力して実習方法・内容などの運営を検討した。オンライン実習に変更したグループの担当として、学生オリエンテーションやオンライン実習の運営を行いながら指導した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	修士論文	2021.4～	主指導（指導教員）	副指導（指導補助教員） 1名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	埼玉県新卒者など訪問看護師養成プログラム	埼玉県訪問看護ステーション協会	褥瘡ケア、ストーマケアについて	2021.4、2021.11
2	ワークショップ	第3回看護人間工学会学術集会	看護ケアの「気持ちいい」に見える化する試みー皮膚から伝わる感覚ー	2021.9月
3	高校出張講座（埼玉県立坂戸高等学校）	県立坂戸高校	看護学を志す高校生のための看護学入門	2021.11月
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	埼玉ストーマリハビリテーション講習会実行委員会	委員		2015.11～現在
2	埼玉ストーマリハビリテーション実習準備委員会	委員		2019.4～現在
3	新卒者など訪問看護師養成プログラム作成委員会	委員、ワーキング委員兼務		2016.4～現在
4	第3回看護人間工学会学術集会	実行委員長		2020.11～2021.11
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			

5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	学科等における委員会等	看護学科カリキュラム運営検討会	2021.4～2022.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	過半数代表者（看護学科）	2021.4～2022.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		